

# おさらいとポイント

<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■目的を明確にすること<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 何の為に外国人を採用するか、法人内で明確にして、周知させること</li><li>✓ 外国人の受入をしている多くの法人で現場に目的が伝わっていない事が多い</li><li>✓ 可能な限り受入施設の責任者等も現地面接に帯同してもらうこと</li></ul></li></ul>
<b>手段</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■手段ありきにならないこと<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 対象国を選択する理由</li><li>✓ 各手法を選択する理由</li><li>✓ 各組合及び各社を選択する理由</li></ul></li></ul>
<b>教育</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■今までの教育レベルを分解すること<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 新人、中堅、管理職（管理者）としての役割だけではなく、業務を分解する事</li><li>✓ 業務（タスク）ごとの目的を明確にする事</li><li>✓ その上で教育のあり方や職種の有り方を考える事</li></ul></li></ul>
<b>生活</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■生活に慣れていない新入職員として接すること<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 外国生活に慣れていないため、生活一つ一つに慣れてもらうことから始める</li><li>✓ 日本人以上のケアが必要になるため、どこまでサポートするか決めておくこと</li><li>✓ 外国人の生活支援を行う中で日本人への配慮も必要</li></ul></li></ul>
<b>義務と権利</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■義務と権利をはっきりさせること<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 非常に難しいが、日本人も含めて厳しく伝えることは厳しくすること</li><li>✓ 権利を主張するケースを組織がどう処理するかある程度決めておくこと</li></ul></li></ul>